口頭発表プログラム

7月3日(木) 中ホール(10:00-12:10, 14:15-17:00)

10:00 開会

開会挨拶 来賓挨拶

セッション1. 除染の現状と課題

(座長:佐藤理夫(福島大学)

10:15 S1-A 招待 放射性物質汚染対処特措法に基づく除 環境省 放射性物質汚染対処特措法施行チーム 染の進捗状況及び除染効果について

11:15 S1-B 招待 福島県における除染事業の現状と課題 吉田克幸(福島県生活環境部除染対策課) について

11:35 S1-C 招待 除染の現状と課題

吉田正美(郡山市生活環境部)

11:55 S1-1 一般 福島県内の市町村の除染特別地域と汚 川崎興太(福島大学) 染状況重点調査地域等における除染に 関する課題認識

13:15-14:15 ポスター発表(奇数番号):展示会場

セッション2. 除染効果評価等

座長:米田稔(京都大学)

14:27 S2-2 一般 地域条件を反映した除染計画の策定 O佐久間一幸(東京農工大学), 難波謙二(福島大学), 寺田昭彦(東京農工大学), 細見正明(同)

14:39 S2-3 一般 除染廃棄物の減容化/管理・保管における複数のオプション評価

保高徹生(産業技術総合研究所・国立環境研究所), 大迫政浩(国立環境研究所)

セッション3. 減容技術(1)

座長:永嶋誠一(日本大学)

量に与える影響評価事例-

15:03 S3-1 一般 腐敗性除染廃棄物の圧縮保管に関する研 〇水谷敦司((株)竹中工務店),川島哲文(同),加藤利崇(同),遠藤和人((独) 究 国立環境研究所)

15:15 S3-2 一般 草木類を含んだ除染土壌からの放射性セ 保高徹生(産業技術総合研究所・国立環境研究所)肴倉宏史(国立環境研シウムの溶出挙動に関する基礎的検討評 究所) 価

-可燃系除染廃棄物の減容化場所が移動

放射性汚染バイオマスの減容に関わるバ 〇大橋憲(中外炉工業(株))、笹内謙一(同)、水野諭(近畿大学)、井田民男(同)、 イオコークス技術の適用 山西弘城(同)

15:39 S3-4 一般 汚染バイオマスのラボ燃焼実験による放 〇倉持秀敏((独)国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター),野村和 射性セシウムの挙動解析 タ(同),大迫政浩(同)

セッション4. 減容技術(2)

S4 - 3

一般

S3-3

座長:保高徹生(産業技術総合研究所)

真空加圧脱水法による除染廃棄物に含

まれる放射性物質の固定化・減容化同

16:03 S4-1 一般 汚染土壌減容化のためのセシウム移行 〇関谷一輝(大阪大学), 吉田有輝(同), 野村直希(同), 三島史人 処理に関する研究 (同), 秋山庸子(同), 西嶋 茂宏(同) 16:15 S4-2 一般 汚染土壌選別装置の実証試験結果につ アレバ, 昭和環境システム, 千代田テクノル, 〇赤坂伸吾((株) アトッ

16:15 S4-2 一般 汚染土壌選別装置の実証試験結果につ いて

クス) 〇岩田将英(前田建設工業(株)), 山本達生(同), 野田兼司(同), 清水英 樹(同)

時処理技術の実証 16:39 S4-4 一般 ごみ焼却主灰からのセシウム揮発除去 の検討

〇藤原大((株)神鋼環境ソリューション), 竹田尚弘(同), 小倉正裕(同), 井出昇明(同), 倉持秀敏(国立環境研究所), 野村和孝(同), 大迫政浩(同)

17:00終了

16.27

15:27

ロ頭発表プログラム

7月3日(木) 集会室(10:20-12:10, 14:15-17:00)

4003.72.5	除染技術(1)
オツンヨンり	1洗袋妆加(1)

ピッショ	一/ 5. 阪	未找1	们(1)	
			座長:釜谷美則(工学院大学)	
10:20	S5-1	一般	放射性セシウムの土壌および有機物へ	〇大嶺聖(長崎大学大学院), 杉本知史(同), 中川雄介(元長崎大学大学
			の吸着特性について	院)
10:32	S5-2	一般	無機化合物によるセシウム吸脱着特性	〇宮原英隆(石原産業(株)), 平井恭正(同), 本田克久(愛媛大学)
10:44	S5-3	一般	汚染植物体由来の焼却灰除染実証試験	〇伯田幸也(産業技術総合研究所ナノシステム研究部門), 南公隆
			1	(同), 髙橋顕(同), 小川浩(同), 田中寿(同), 川本徹(同), 山口真樹(東
			汚染植物体の焼却減容化と水洗浄によ	京パワーテクノロジー株式会社),土屋勇太郎(同),佐藤秀一(同),船
			る焼却灰除染	橋孝之(同), 上村竜一(同), 長田光男(同)
10:56	S5-4	一般	汚染植物体由来の焼却灰除染実証試験	〇田中寿(産業技術総合研究所ナノシステム研究部門), 北島明子
			2	(同), パラジュリ・ドゥルガ(同), 小川浩(同), 伯田幸也(同), 川本徹
			プルシアンブルー型錯体ナノ粒子吸着	(同), 山口真樹(東京パワーテクノロジー(株)), 土屋勇太郎(同), 佐藤
			材カラムによる吸着試験	秀一(同), 船橋孝之(同), 長田光男(同), 上村竜一(同), 川崎達也(日本
				バイリーン(株)), 川津善章(同), 小林剛(同), 髙﨑幹大(関東化学
				(株)), 吉野和典(同)

セッショ	ン6. 隊	染技征	析(2)	
			座長:大嶺聖(長崎大学)	
11:20	S6-1	一般	低線量地域の住宅除染法-過酸化水素 洗浄法-	高橋正則(庄建技術株式会社技術部)
11:32	S6-2	一般	常磐自動車道の除染工事	中平淳(大成建設(株)東北支店)
11:44	S6-3	一般	浄水発生土の土壌特性に着目したセシ ウム脱着に関する研究	〇村上将也(東北大学大学院工学研究科), 齋藤太一朗(同), 西村修 (同), 近藤泰正(株式会社水機テクノス)
11:56	S6-4	一般	放射能汚染土壌の熱処理によるCs溶出 特性の変化	〇池上麻衣子(京都大学原子炉実験所),高瀬雄平(京都大学工学研究科),福谷哲(京都大学原子炉実験所),米田稔(京都大学工学研究科),島田洋子(同),松井康人(同)

13:15-14:15 ポスター発表(奇数番号):展示会場

ナッパノコンノフ	除染技術(3)
コンソフコフィ	ᇄᅕᆍᆛᄝᇄᆝᄾᇰ

			座長:佐藤和郎(大成建設)	
14:15	S7-1	一般	コンクリートへの放射性核種の浸透汚 染	〇木下哲一(清水建設(株)技術研究所),大石晃嗣(同),鳥居和敬(清水建設(株)原子力火力本部),横山明彦(金沢大学理工研究域),末木啓介
			*	(筑波大学数理物質科学研究科)
14:27	S7-2	一般	バイオフィルムの活用によるファイト レメディエーション除染技術の高効率 化	〇村上英樹(秋田大学大学院工学資源学研究科), 菊地良栄(同), 上島雅人(University of Kansas, Kansas Geological Survey), 揃 政敏((株)NSE), 吉原泰夫(同), 白鳥雄介(同), 二木 健((株)アトックス)
14:39	S7-3	一般	産業廃棄物を利用した安価な放射能除 去効果の立証と水溶液散布による放射 能汚染土壌の線量低減効果のその後	國分秀博 ((株)スリー・イー), 福谷泰雄 (同), 中島裕夫(大阪大学大学院), 久保良喜 (㈱ベースウィル), 本行忠志 (大阪大学大学院), 井阪尚司 ((株)スリー・イー), 浅井満来雄 (同), 菊池潮美 (滋賀県立大学)

14:51	S7-4	一般 マイクロバブル・フローテーションを	〇日下英史(京都大学大学院エネルギー科学研究科), 石山宏二(西松
		利用した底質浚渫スラリーの除染・減	建設(株)技術研究所)
		容化	

セッション8. 計測技術(1)

	- 0. F	1 ~11~1	11 ()	
			座長:藤田玲子((株)東芝)	
15:15	S8-1	一般	海水中Sr-90の短時間定量を目的とする 鉄-バリウム共沈グロスベータ計測法	〇紺野慎行(福島県原子カセンター, 福島大理工), 高貝慶隆(福島大理工, 福島大環境放射能研)
15:27	S8-2	一般	指向性を有する空間線量率モニタリン グ装置の開発	〇鏡渕英紀(東京電力(株)),小藪健(同),鈴木智(同),武藤昭一(同)
15:39	S8-3		複数の測定機を用いて空間放射線量率 を調査する際の留意点	〇山村充(国土防災技術(株)),氏家亨(同)
15:51	S8-4	一般	RIコーンプローブを利用した自然放射 線 (BG) の測定について	〇後藤政昭(ソイルアンドロックエンジニアリング(株)), 吉村貢 (同), 重富正幸(同), 松浦良信(同), 松本政雄(同)

	= 1 -= 111 45= 4 4
ナルバンコンノロ	計測技術(2)

セッショ	ン9. 言	†測技征	析(2)		
座長: 豊田亘博(大阪大学·豊田放射線研究所)					
16:15	S9-1	一般	放射性セシウムによる汚染底質の対策 試験実施例	〇江原仁((一社)水底質浄化技術協会技術委員会), 川西龍一(同)	
16:27	S9-2	一般	排ガス中放射性物質測定装置の開発	○齊藤勇(日立アロカメディカル(株)),後藤 健士(同),島本聡(京都電子工業(株)),埜中孝則(同),竹内幸生((独)国立環境研究所),山本貴士(同),滝上英孝(同),森口祐一(東京大学)	
16:39	S9-3	一般	フレコンバッグ用放射能測定装置の開 発	〇上田浩三(日立造船(株)),田窪芳久(同),山本常平(同),山田紘義(同),滝上英孝((独)国立環境研究所),山本貴士(同),高田光康(同),竹内幸生(同),長谷川亮(同),田野崎隆雄(同),金松雅俊(同),前背戸智晴(同),福澤明(応用光研工業(株))	
17 0060	~				

口頭発表プログラム

7月4日(金) 中ホール(9:45-12:00, 14:15-17:00)

セッション10	海域•陸域	生物の汚染

座長:大原利眞(国立環境研究所)

9:45 S10-1 一般 放射性セシウムの蓄積と干潟底質性状 との関係 〇有田康一((独)国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター), 矢部徹(同),錦織達啓(同 地域環境研究センター),林誠二(同)

9:57 S10-2 一般 水底における空間線量率の連続測定装 置の開発と松川浦での現地調査 〇笠原勉(いであ(株)),木下裕士郎(同),古殿太郎(同),早坂裕幸(同),大久保豊(同),伊藤光明(同),矢部徹((独)国環研・生物センター),有田康一(同),林誠二((独)国環研・地域センター)

10:09 S10-3 一般 福島県浪江町の里山に大気沈着した放射性セシウムの森林内分布と挙動

〇黒島碩人(早稲田大学大学院創造理工研究科),緒方裕子(同),大河 内博(同),床次眞司(弘前大学被ばく医療総合研究所),反町篤行(福島 県立医科大学医学部),細田正洋(弘前大学大学院保健学研究科),片岡 淳(早稲田大学大学院先進理工研究科)

10:21 S10-4 一般 福島県二本松市東部で採取された野生 動物(鳥類および哺乳類)の放射性セ シウム蓄積 〇渡邉泉(東京農工大学大学院農学研究院), 野村あづみ(同), 増川武志(同), 尾崎宏和(同), 佐藤幸太(同), 林谷秀樹(同), 五味高志(同), 吉田誠(同), 横山正(同)

10:33 S10-5 一般 福島県二本松市東部の水田生態系にお ける放射性セシウム蓄積 ~2013年の調 査~ 〇渡邉泉(東京農工大学大学院農学研究院),青山光(同),尾崎宏和 (同),佐藤幸太(同),林谷秀樹(同),五味高志(同),吉田誠(同),横山正 (同)

10:45 S10-6 一般 千葉県内水面漁獲物の汚染実態と除染 の可能性 原猛也((公財)海洋生物環境研究所中央研究所),長谷川一幸(同)

セッション11. 河川・湖沼の汚染

座長:高貝慶隆(福島大学)

11:09 S11-1 一般 阿武隈川の河川堆積物における放射性 セシウムの分布と蓄積メカニズムの検 討~2012-2013年の調査~ 渡井千絵(東京農工大学大学院農学府), 尾崎宏和(同), 佐藤幸太(同), 五味高志(同), 吉田誠(同), 横山正(同), 渡邉泉(同)

11:21 S11-2 一般 成層・非成層条件の湖沼における水中 放射性Csの実態 〇中野和典(日本大学工学部), 手塚公裕(日本大学工学部), 古河幸雄(同), 長林久夫(同), 亀田豊(千葉工業大学工学部), 玉田将文(秋田県生活環境部健康環境センター)

11:33 S11-3 一般 低線量地域の公園内湖沼における放射 性物質の分布特性 〇手塚公裕(日本大学工学部),長林久夫(同),古河幸雄(同),平山和雄(同),中野和典(同),柳原隆司(同)

11:45 S11-4 一般 低線量地域のダム流域における放射性 セシウムの動態調査 〇長林久夫(日本大学工学部),古河幸雄(同),平山和雄(同),中野和典(同),手塚公裕(同),柳原隆司(同),高井則之(日本大学生物資源科学部)

13:00-14:00 ポスター発表 (偶数番号) : 展示会場

セッション12. モデル化・環境中の動態

座長:渡邉泉(東京農工大学)

14:00 S12-1 一般 2011年3月つくば市で観測された 放射性Csの物理・化学性状 五十嵐康人(気象研究所),足立光司(同),梶野瑞王(同),財前祐二(同),中井泉(同),阿部善也(同),飯澤勇信(東京理科大学),佐藤志彦(筑波大学),末木啓介(同)

14:12 S12-2 一般 土壌におけるセシウムの動態に関する 研究

吉田有輝(大阪大学大学院 工学研究科), 関谷一輝(同), 野村直希 (同), 三島史人(同), 秋山庸子(同), 西嶋茂宏(同)

14:24 S12-3 一般 放射性セシウム137の海底堆積・巻上シ ミュレーションモデルに関する基礎的

○東博紀((独)国立環境研究所),森野悠(同),大原利眞(同)

14:36 S12-4 一般 福島県の森林における空間放射線量率 の分布特性及び経年推移について

高橋敦宏(福島県農林水産部),〇氏家亨(国土防災技術(株)),山村充 (同)

企画セッション. NIES-JAEAジョイントセッション(15:00-17:30)

開会 大迫政浩((独)国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長)

15:00 趣旨説明

(独) 国立環境研究所 理事 原澤 英夫

1 焼却減容化プロセスでの放射性セシウム挙動研究の最前線

座長:大迫政浩((独)国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長)

【発表4題,総合質疑】

2 放射性セシウムの環境動態モニタリングとモデリング研究の最前線

座長:油井三和((独)日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 福島環境安全センター長)

【発表 4 題,総合質疑】

17:30 閉会 油井三和 ((独)日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 福島環境安全センター長)口

17:30 終了

ロ頭発表プログラム

7月4日(金) 集会室(9:45-12:10, 14:15-17:00)

+700	··	12	計和	技術	(3)
	ソコノ	IO.	- FI / - PI	1 7 7 1/1 1	(\mathbf{o})

	2 / / 12 / (c)					
			座長:河津賢澄(福島大学)			
9:45	S13-1	一般	事故由来放射性セシウムの可視化;ガンマカメラ、コンプトンカメラそして セシウムカメラの比較検討	〇豊田互博(豊田放射線研究所),大槻宗司(同),高橋正二(高橋科学), 濱島健二(豊田放射線研究所)		
9:57	S13-2	一般	電子飛跡検出型コンプトンカメラを用いた低線量場測定	〇上坂彰朗((株) 堀場製作所), 伊藤浩史(同), 西萩一夫(同), 奈部谷章 (キヤノン(株)), 友野大(京都大学), 高田淳史(同), 谷森達(同), 坂東 直人((株) 堀場製作所)		
10:09	S13-3	一般	除染現場におけるガンマカメラを用いた汚染状況の定性化向上・定量化の試 み	〇谷口雅弘(大成建設(株)原子力本部),西山恭平(同),實川資朗(福島工業高等専門学校),佐藤正知(同)		
10:21	S13-4	一般	PSFを使用した住宅庭の面的モニタ リングシステムの開発	〇杉田敬太郎((株)竹中工務店),岡本肇(同),髙橋拡(同),吉田真悟 (同)		
10:33	S13-5	一般	特性X線の測定による放射性セシウムの 表層放射能面密度と浸透深さの測定、 現地測定結果	〇平野靖浩(エヌ・エム・ピイ ビジネスサポート(株)), 高橋正二 (高橋科学), 片山均(エヌ・エム・ピイ ビジネスサポート(株))		
10:45	S13-6	一般	環境放射線モニタによる環境試料を対 象とした放射性セシウム濃度の簡易測 定方法に関する調査検討	〇武山進一(岩手県工業技術センター), 遠藤治之(同), 照井儀明(岩手 県総務部総務室)		

セッション14. 減容技術(3)

			座長:西嶋茂宏(大阪大学)		
11:09	S14-1	一般	溶融実証プラントにおける各種固形物 を対象としたセシウム分離試験	〇阿部清一((独)国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター), 川本克也(同,現・岡山大学),倉持秀敏(同),大迫政浩(同)	
11:21	S14-2	一般	汚染廃棄物から回収された放射性セシ ウムの減容処分システムの開発	〇竹下健二(東工大原子炉研),高塚伊万里(同),高橋秀治(同),稲葉優介(同),緒明博(同),村山凡子(日東電工(株)),西川原正也(同),小原孝之(前田建設工業((株))	
11:33	S14-3	一般	新規フェリシアン化系吸着剤によるセ シウム回収	〇村山凡子(日東電工株式会社),西川原正也(同),竹下健二(東工大原子炉研),稲葉優介(同),高橋秀治(同)	
11:45	S14-4	一般	飛灰の水洗浄による放射性セシウムの 回収・濃縮技術 〜焼却飛灰、洗浄飛 灰、廃吸着剤からの放射性セシウムの 溶出特性〜	〇蛯江美孝((独)国立環境研究所),大迫政浩(同),樋口壯太郎(福岡大学),谷田克義((株)神鋼環境ソリューション),坂井義広(同)	

13:00-14:00 ポスター発表(偶数番号):展示会場

セッション15. 減容技術(4)						
			座長:竹下健二(東京工業大学)			
14:00	S15-1	一般	溶融技術による焼却灰、土壌からのセ シウム除去	〇西川雄(三菱マテリアル(株)エネルギー事業センター 那珂エネルギー開発研究所),竹之内宏文(同),佐々木尚(同),上田 真三(同)		
14:12	S15-2	一般	溶融を用いたセシウム分離における添 加薬剤の最適化に関する基礎研究	〇釜田陽介((株)クボタ 水・環境総合研究所), 寶正史樹(同), 佐藤淳(同), 上林史朗(同), 阿部清一(同, 現・杵築技術士事務所)		
14:24	S15-3	一般	ガレキ等の難除染金属廃棄物の溶融除 染	〇佐々木尚(三菱マテリアル(株)エネルギー事業センター那珂エネルギー開発研究所),西川雄(同),上田真三(同)		
14:36	S15-4	一般	汚染飛灰の除染処理技術の開発	〇高倉恵太((株)東芝),小林嗣幸(同),中村秀樹(同),大村恒雄(同), 牧野新一(同)		
14:48	S15-5	一般	放射能で汚染された焼却灰の処理技術	〇多田光宏(JFEエンジニアリング(株)), 宮越靖弘(同)		

15:10 終了